

## 浅口市議会 平成25年第3回 9月定例会

### 桑野和夫議員の質問と当局答弁

#### 平成25年第3回 9月定例会 — 09月03日—01号

平成25年第3回 9月定例会

平成25年9月浅口市議会第3回定例会会議録（第1）

1. 招集年月日 平成25年9月3日（初日）
1. 招集の場所 浅口市役所議場
1. 開 会 9月3日 午前9時30分
1. 議事日程
  - 第 1 会議録署名議員の指名について
  - 第 2 会期の決定について
  - 第 3 諸般の報告
  - 第 4 市長政務報告
  - 第 5 委員長報告（質疑）
    - 総務文教常任委員会
    - 民生常任委員会
    - 産業建設常任委員会
    - 国道2号バイパス及び主要道路整備調査特別委員会
    - 上下水道整備調査特別委員会
    - 議会改革特別委員会
  - 第 6 承認第 7号 専決処分した事件の承認について  
(和解及び損害賠償額の決定について)
  - 第 7 承認第 8号 専決処分した事件の承認について  
(和解及び損害賠償額の決定について)
  - 第 8 承認第 9号 専決処分した事件の承認について  
(和解及び損害賠償額の決定について)
  - 第 9 議案第52号 浅口市営住宅条例の一部を改正する条例について
  - 第10 議案第53号 平成25年度浅口市一般会計補正予算（第2号）

- 第11 議案第54号 平成25年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 第12 議案第55号 平成25年度浅口市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 第13 議案第56号 平成25年度浅口市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 第14 議案第57号 平成25年度浅口市工業団地開発事業特別会計補正予算（第1号）
- 第15 議案第58号 平成25年度浅口市水道事業会計補正予算（第1号）
- 第16 議案第59号 市道路線の認定について
- 第17 議案第60号 市道路線の廃止について
- 第18 認定第1号 平成24年度浅口市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 第19 認定第2号 平成24年度浅口市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定につ

て

- 第20 認定第3号 平成24年度浅口市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定につ

いて

- 第21 認定第4号 平成24年度浅口市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

- 第22 認定第5号 平成24年度浅口市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

- 第23 認定第6号 平成24年度浅口市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定につ

いて

- 第24 認定第7号 平成24年度浅口市畑地かんがい給水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

- 第25 認定第8号 平成24年度益坂財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

- 第26 認定第9号 平成24年度浅口市工業団地開発事業特別会計歳入歳出決算の認定につ

- 第27 認定第10号 平成24年度浅口市水道事業会計決算の認定について

1. 本日の会議に付した事件及びその結果

- 日程第1 会議録署名議員の指名について (19番、20番)

- 日程第2 会期の決定について (18日間)

- 日程第3 諸般の報告

- 日程第4 市長政務報告

- 日程第5 委員長報告（質疑）

- 総務文教常任委員会

- 民生常任委員会

- 産業建設常任委員会

- 国道2号バイパス及び主要道路整備調査特別委員会

- 上下水道整備調査特別委員会

- 議会改革特別委員会

- 日程第6 承認第7号 専決処分した事件の承認について

- (和解及び損害賠償額の決定について)  
(上 程)
- 日程第 7 承認第 8号 専決処分した事件の承認について  
(和解及び損害賠償額の決定について)  
( " )
- 日程第 8 承認第 9号 専決処分した事件の承認について  
(和解及び損害賠償額の決定について)  
( " )
- 日程第 9 議案第52号 浅口市営住宅条例の一部を改正する条例について  
( " )
- 日程第10 議案第53号 平成25年度浅口市一般会計補正予算(第2号)  
( " )
- 日程第11 議案第54号 平成25年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)  
( " )
- 日程第12 議案第55号 平成25年度浅口市介護保険特別会計補正予算(第1号)  
( " )
- 日程第13 議案第56号 平成25年度浅口市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)  
( " )
- 日程第14 議案第57号 平成25年度浅口市工業団地開発事業特別会計補正予算(第1号)  
( " )
- 日程第15 議案第58号 平成25年度浅口市水道事業会計補正予算(第1号)  
( " )
- 日程第16 議案第59号 市道路線の認定について ( " )
- 日程第17 議案第60号 市道路線の廃止について ( " )
- 日程第18 認定第 1号 平成24年度浅口市一般会計歳入歳出決算の認定について  
(上 程)
- 日程第19 認定第 2号 平成24年度浅口市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定に  
ついて  
( " )
- 日程第20 認定第 3号 平成24年度浅口市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定  
について  
( " )
- 日程第21 認定第 4号 平成24年度浅口市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決  
算の認定について  
( " )
- 日程第22 認定第 5号 平成24年度浅口市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定につい

て

( 〃 )

日程第23 認定第 6号 平成24年度浅口市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定  
について

( 〃 )

日程第24 認定第 7号 平成24年度浅口市畑地かんがい給水事業特別会計歳入歳出決算  
の認定について

( 〃 )

日程第25 認定第 8号 平成24年度益坂財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

( 〃 )

日程第26 認定第 9号 平成24年度浅口市工業団地開発事業特別会計歳入歳出決算の認  
定について

( 〃 )

日程第27 認定第10号 平成24年度浅口市水道事業会計決算の認定について

( 〃 )

1. 出席議員 (4番欠番)

1番 伊澤 誠	2番 佐藤 正人
3番 竹本 浩司	5番 岡邊 正継
6番 平田 襄二	7番 桑野 和夫
8番 加藤 淳二	9番 原 彰
10番 中西 美治	11番 柚木 毅
12番 藤澤 健	13番 青木 光朗
14番 大西 恒夫	15番 田口 桂一郎
16番 畑中 知時	17番 香取 良勝
18番 井上 邦男	19番 道廣 裕子
20番 高橋 範昌	21番 大西 洋平

1. 遅刻または中途退場した議員の番号、氏名 (なし)

1. 欠席議員 (なし)

1. 地方自治法第121条の規定に基づく説明のため出席した者の職氏名

市長	栗山 康彦	副市長	田村 諭
教育長	城山 藤一	企画財政部長	秋田 裕
生活環境部長	原田 健次	健康福祉部長	襟立 憲道
産業建設部長	松田 勝久	上下水道部長	垣内 長
金光総合支所長	河手 秀夫	寄島総合支所長	應本 秀文
教育次長	榎田 忠	会計管理者	筒井 正和
総務課課長補佐	武 弘一	監査委員	中新 隆

1. 出席した事務局職員

議会事務局長 小西通夫 書記 園部 智  
書記 奥原貴子

1. 会議録署名議員の番号、氏名

19番 道廣裕子 20番 高橋範昌

午前9時30分 開会

○議長（柚木毅） ただいまの出席議員は20人です。定足数に達しておりますので、これより平成25年第3回浅口市議会定例会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

~~~~~

○議長（柚木毅） これで質疑を終わります。

次に、民生常任委員会よりお願いいたします。

桑野委員長。

◆民生常任委員会委員長（桑野和夫） 民生常任委員会委員長報告をいたします。

平成25年8月19日月曜日午前9時30分から全員出席で開催しました。

その結果については次のとおりであります。

1、請願・陳情について。

国に対して最低賃金上げ、中小企業支援策の拡充を求める意見提出を求める請願書、安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情、介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情、この3件については慎重に審査する必要があるため、継続審査とすることに決定しました。

2、議会報告会における意見等の協議について。

議会報告会でいただいた意見のうち、当委員会の所管分について協議しました。

以上、概要を報告します。

平成25年9月3日、民生常任委員会委員長桑野和夫。

○議長（柚木毅） 民生常任委員会委員長からの報告についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（柚木毅） これで質疑を終わります。

次に、産業建設常任委員会よりお願いします。

平田委員長。

=====

## 平成25年第3回 9月定例会 — 09月10日—03号

平成25年第3回 9月定例会

### 平成25年9月浅口市議会第3回定例会会議録（第3）

1. 招集年月日 平成25年9月10日（8日目）

1. 招集の場所 浅口市役所議場

1. 開 議 9月10日 午前9時30分

1. 議事日程

第1 一般質問

1. 本日の会議に付した事件及びその結果

日程第1 一般質問

1. 出席議員（4番欠番）

|           |            |
|-----------|------------|
| 1番 伊澤 誠   | 2番 佐藤 正人   |
| 3番 竹本 浩司  | 5番 岡邊 正継   |
| 6番 平田 襄二  | 7番 桑野 和夫   |
| 8番 加藤 淳二  | 9番 原 彰     |
| 10番 中西 美治 | 11番 柚木 毅   |
| 12番 藤澤 健  | 13番 青木 光朗  |
| 14番 大西 恒夫 | 15番 田口 桂一郎 |
| 16番 畑中 知時 | 17番 香取 良勝  |
| 18番 井上 邦男 | 19番 道廣 裕子  |
| 20番 高橋 範昌 | 21番 大西 洋平  |

1. 遅刻または中途退場した議員の番号、氏名（1名）

15番 田口 桂一郎

1. 欠席議員（なし）

1. 地方自治法第121条の規定に基づく説明のため出席した者の職氏名

|         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| 市長      | 栗山 康彦 | 副市長     | 田村 諭  |
| 教育長     | 城山 藤一 | 企画財政部長  | 秋田 裕  |
| 生活環境部長  | 原田 健次 | 健康福祉部長  | 襟立 憲道 |
| 産業建設部長  | 松田 勝久 | 上下水道部長  | 垣内 長  |
| 金光総合支所長 | 河手 秀夫 | 寄島総合支所長 | 應本 秀文 |
| 教育次長    | 榎田 忠  | 会計管理者   | 筒井 正和 |

1. 出席した事務局職員

|        |       |    |      |
|--------|-------|----|------|
| 議会事務局長 | 小西 通夫 | 書記 | 園部 智 |
|--------|-------|----|------|

書記

小橋史明

書記

奥原貴子

午前9時30分 開議

○議長（柚木毅） おはようございます。

ただいまの出席議員は20人であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

~~~~~

○議長（柚木毅） それでは、休憩を解いて再開いたします。

次に、7番桑野和夫議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） それでは、通告に従いまして質問をさせていただきます。

今回私は市長のマニフェストについて、それから下水道事業について、それから水道管の未普及地域について、住宅リフォーム助成制度についてお聞きをします。明快な答弁をお願いをいたします。

まず初めに、市長のマニフェストについてお聞きをします。

栗山市長が浅口市政のかじ取り役になられてもうすぐ4年が来ようとしています。私も日本共産党は、これまで栗山市政については是々非々の対応で対応をまいりました。

さて、3年半前の市長選挙のとき、栗山市長は住みたい町ナンバーワンをスローガンとしたマニフェストを発表して選挙戦を戦い、見事勝利をされました。このマニフェストであります、教育、子育て、医療、福祉、治安安全、行財政改革、市役所改革、環境リサイクル社会、産業、観光、歴史、文化、こういう大きな6つの項目の中に44の公約を掲げられております。

私はこの44の公約について、全ての項目を支持しているわけではありません。また、項目そのものが支持できてもやり方が納得できない、こういう面もあります。しかしながら、子供の医療費の無料化の年齢拡大やあるいは地域バスの運行など、少なくともところで共鳴できる部分があったことも事実であります。

まず、市長にお伺いしますが、残り半年の任期という時点に立って、このマニフェストの達成度についてどうお考えかお聞きをします。

○議長（柚木毅） 市長、どうぞ。

◎市長（栗山康彦） それでは、マニフェストの達成度についてお答えをいたします。

マニフェストは、私が平成22年4月の市長選に出馬するときに市民の皆様にお約束をいたしました公約であります。市長に就任して以来、マニフェストに掲げた政策を達成するために一生懸命取り組んでまいりました。

私のマニフェストには、先ほど言われましたけれど、6つのテーマがありまして、具体的に政策を決めて取り組んでまいりました。中でも、子ども医療費の無料化を中学校卒業するまで拡大したことや市営バス浅口ふれあい号をこの4月から本格運行するなど、主要な政策については達成できたと考えています。また、市営墓地の整備など現在取り組んでいる政策や段階的に実施している政策もありますが、

私としては全ての政策に一応着手できたというふうに考えております。

また、県レベルで既に同じ趣旨で実施されている事業につきましては、県との連携を図るなどして事業の推進を図っています。

以上でございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） マニフェストの中の子育ての施策については私は共感できる部分が多いんですが、例えば子供の医療費の無料化などはもっと年齢を引き上げるなどして、子育ての分野でも定住促進でも、この分野だけは全国どこの自治体にも負けない、こういう政策を思い切ってやってほしいと思いますが、その辺はどうでしょうか。

○議長（柚木毅） 市長、どうぞ。

◎市長（栗山康彦） そうですね、物事を全体で見たいと思います。子供の医療費は今中学校卒業するまで無料でありますけども、それを引き上げるとかということではなくて、いわゆる子育て王国にはどうあるべきか、小さい人の、いわゆるもっともっと共働きができやすい環境をつくっていくとか、そういった全体を考えていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） マニフェストの中には実現したもの、そして今取り組まれてるもの、まだ実現できてない、そういうものがあります。実現できてない項目として、例えば保育園、幼稚園の保育料を2人目以降無料化、それから既存施設を利用した児童館、子供の居場所の創設、そして要介護者、要支援者の住宅改修への独自補助、それから地産地消の店の登録制度の導入、こういったものが私はあると思っています。これらは大変よい政策だと思いますけども、今後どう取り組んでいかれるのかお聞きをします。

○議長（柚木毅） 市長、どうぞ。

◎市長（栗山康彦） 御指摘のとおり、今研究してるもの、あるいは段階的にやってきてるもの、いろいろあります。例えば、保育園の2人目以降っていうことを公約に掲げておりますけどもそれよりも、先ほど申し上げましたように、先にやらなきゃいけないということも見つかってきたわけでございます。例えば、小さな幼児の安全・安心もそうでありますし、このたびもいろんなところへ、幼稚園や保育園に、小学校にもいわゆるカメラをつける防犯を、安全のほうを大切にしていこうとか、あるいは予防接種の問題であるとか健康面、それから共働きがしやすいように朝の預かりを早くしていこうとか、そういったことにも気を配っております。その書いたことだけは、申しわけございません、まだ研究中ということでお許しをいただきたいと思っております。

児童館につきましても、たしか私既存の施設を利用したっていうふうには書いてあると思っております。その既存の施設っていうのがなかなか補助金の関係とかで、かなり研究もさせていただきました。これから少しちょっと違った観点から、そういったこともクリアできるように研究をしたい、そして今研究してる段階でございます。

以上でございます。



○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） マニフェストの中の行財政、市役所改革の中の項目の中のホームページへの借金時計の掲載についてお聞きをします。

以前の市のホームページには、この借金時計はトップページにありました。その後ホームページをリニューアルして今はトップページになく、トップページから市政情報にクリックをして、そしてさらに財政をクリックしてやっと浅口市の借金時計にたどり着きます。そして、たどり着いた先の時計は外部サイトになっております。時計ですから誰が見てもすぐわかるようにするのが常識だと思いますが、その辺はいかがでしょうか。

それから、それはそう大したことではないんですが、重要なのは借金の推移であります。このマニフェストの裏表紙に、3年半前の借金が301億円と書かれております。そして、その説明として、浅口市年間予算の約2.5倍の借金、それから市民1人当たりの借金80万4,000円というふうにあります。要するに、これはこの当時借金が多過ぎると批判的に書かれたものだと思います。

それで、今の借金時計を見ますと、現在の借金は284億円とあります。要するに、3年半前の借金が301億円で今が284億円ですから、3年間で約17億円借金を圧縮したというふうになると思っています。私は財政の専門家ではありませんから、この17億円をどう見るか、よく圧縮したと見るのか、たった17億円しか圧縮してないと見るのか、その辺はどうお考えか、お聞きをします。

それから、同じく行財政改革、市役所改革の項の中の市民事業仕分けであります。栗山市長は事業仕分けを平成22年度と23年度と行いましたが、平成24年度以降は行っておりません。私はこの事業仕分けは否定的に考えていますが、これは今後どうお考えかお聞きをします。

以上。

○議長（柚木毅） 答弁をどなたか。

市長、どうぞ。

◎市長（栗山康彦） 済いません、借金時計は、議員も言われましたように、リニューアルに伴って災害等々のことを第1面に持ってくるってということで、中のほうに入ってということは事実でございます。

それから、その借金の総額の301億円でございますけども、これは批判ではなく、その当時のきちっとした統計の書に載ってた数字であろうかと思っております。事実を書いたというふうに御認識いただきたいと思っております。それが、301億円から今現在借金時計が284億円まで下がった、その詳細につきましては担当部長から説明をさせますので、よろしく願いいたします。

○議長（柚木毅） 企画財政部長、どうぞ。

◎企画財政部長（秋田裕） マニフェストに掲載されておりました浅口市の借金時計、言われるとおり301億円、当時平成19年度の財政状況の一覧ということで数値が載っております。現在の借金時計の数値を見ますと、きのう現在は284億円でございます、議員さん言われるとおりでございます。19年度より17億円下がっているというのもそうです。この原因は、繰上償還や当時の起債事業の規模等がそのように下げさす要因がありまして、借金が減っているというようなことでございます。大型事業の関係が大きいんですけども、交付税措置が高い起債を選んでこれから長期計画を立ててやって

いくと、つまりバランスの問題だと思うんですけども、そういった感じで予算措置を検討していくことが大事だということ考えております。将来に負担を残さないような行財政改革をしっかりと推進しながら、少しでも借金を減らす努力を財政部局、市当局としてもやっていきたいと思っております。

また、先ほど市長申しましたが、借金時計の表示のことにつきましては財政の中に持っていきます、事実。これは他の財政の貴重な資料もございまして、そういったものと一緒に市民の方に提供すべきだろうということで、総合的な観点の中で考えさせていただいた結果でございます。よろしくお願いたします。

○議長（柚木毅） 事業仕分けの答弁をどなたか。

どうぞ。

◎市長（栗山康彦） 議員の言われるように、これからもしっかりと、何をどのようにしなきゃいけないかということも含めまして、事業仕分けも機会があれば一生懸命前向きに検討していきたいというふうに思っております。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 子育ての面あるいは福祉の面の充実、そして財政では徹底的に無駄を省き効率的な行政を今後してほしいと思います。

それでは、次の質問に移らせていただきます。

次に、下水道事業について質問をいたします。

現在浅口市では下水道事業の未整備地区を対象に説明会を行い、その説明会の中でアンケートも実施をされています。説明会での市民の意見の概要並びにアンケートの結果の全体の概要をまずお聞きをします。

○議長（柚木毅） 上下水道部長。

◎上下水道部長（垣内長） 未整備地区説明会とアンケートにつきましてお答えいたします。

下水道事業は、衛生的で快適な暮らしが行えることはもちろん、公衆衛生の向上、公共水域の水質保全等の環境整備を行う事業でございます。環境整備を行うためには、ある程度まとまった地区単位での整備計画を立てる必要があります。このため、本年度当初から8月上旬にかけて、事業計画区域内の未整備地区のうち、おおむね5年から7年程度までに整理が見込まれる金光、鴨方の約40の地区で下水道事業に対する意見や規模などを把握し、今後の計画の参考にするため説明会とアンケート調査を実施いたしました。

説明会では、主に下水道整備時期でございますとか、受益者負担金や下水道料金の話がございました。また、アンケートでございますが、アンケートは今集計のために業者のほうへ全部渡しておりますのでちょっと内容まで把握しておりませんので、その辺を申しわけないですけどお答えをいたしかねます。

以上でございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） アンケートについてはまだ今は業者に渡しとるということですが、私が特にこのアンケートの中で注目をしているのが設問7で、今後下水道整備を望むか望まないか、そういう項目があります。実際、今業者で集計をさせてるんでしょうけども、もちろん部長はそのアンケート

について概要を大体見られてると思うんで、業者に渡す前に。その辺、この問7の傾向はどんな感じなのか、まずお聞きします。

○議長（柚木毅） 上下水道部長、どうぞ。

◎上下水道部長（垣内長） 下水道事業の意義につきましては先ほど申し上げましたが、合併処理浄化槽の普及やその他さまざまな理由から下水道整備を希望されない方もいらっしゃるのも事実でございます。そういう意見集約も、この説明会と同時に行いましたアンケートの目的の一つでございました。その中で、さっき言われました問い7番ですが、下水道整備に関してのあなたの考えをお聞かせくださいという設問では、ざっと見た範囲ではございますが地区によってさまざまございました。

（「議長、ちょっと声大き目にしてください」の声あり）

○議長（柚木毅） ちょっとボリュームを、声の。

よろしい。

◎上下水道部長（垣内長） 失礼しました。

（「部長、これを口に近づけてやって」の声あり）

済いません。

さまざまな御意見ございまして、今何分集約中でございますので、ちょっと傾向につきましては御勘弁をいただきたいと思います。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 私は、部長として例えば7番とか含めて非常に注目をされるんじゃないかと思うんで、その辺も何も見ずに業者に今出してるんでしょうか。

○議長（柚木毅） 上下水道部長。

◎上下水道部長（垣内長） 集計が早いほうがいいと思ひまして渡してしまいましたので、申しわけございません。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 私は普通大体の傾向について関心があるんで、やっぱり担当部長、それは見るんが普通だと思うんで。それはよろしいです。

それから、今アンケート集約中であるんでしようが、公表はどのような形でされるのかお聞きをします。

○議長（柚木毅） 上下水道部長。

◎上下水道部長（垣内長） 当然地区でアンケートをいただいておりますので、その地区の方にも直接の、まだ方法までは考えておりませんが、何らかの方法でお知らせしたいと思います。もちろん議会等に対しましても同じように公表いたしまして、お知らせをいたす所存でございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 下水道を整備するかどうかはアンケートの結果をもとにされますが、集計の発表はその説明会会場ごとにするのか、全体とするのか、その辺はどうでしょうか。

○議長（柚木毅） 上下水道部長、どうぞ。

◎上下水道部長（垣内長） 基本的には説明会場ごとにやりたいと思っております。

○議長（柚木毅） どうぞ。

◆7番（桑野和夫） ということは、その説明会場ごとに、例えば設問7の整備をしてほしいがどうい割合で、してほしいがどういう割合でというのが出ると思うんです。それで、その結果をもとに浅口市は下水道を整備するかしらないかを判断をされると思いますが、その判断の基準はどれぐらいなのかお聞きします。

○議長（柚木毅） 上下水道部長。

◎上下水道部長（垣内長） 整備するかしらないかの判断の基準でございますが、地区のおおむね8割以上の方が整備について反対であれば、一旦事業計画区域から外すことを考えております。ただし、全体計画には残りますので、将来的な下水道整備について将来的にはその地区の方が下水道に賛成してくださるような啓発について行いたいと考えております。

以上です。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） ということは、アンケートの結果で20%の賛成があれば下水道を引くということになりますが、私は過半数ぐらいが基準なんかと思いますけども、80%ということですね。それは何か法的根拠があるのでしょうか。

○議長（柚木毅） 上下水道部長。

◎上下水道部長（垣内長） 法的根拠については特にございません。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） では、80%という基準はどのような物差しで決定されたのでしょうか。

○議長（柚木毅） 上下水道部長。

◎上下水道部長（垣内長） 基本的には、先ほど申し上げましたように、環境衛生、環境整備が目的なので、市としてはできる限り下水道事業を推進していきたいと考えておりますが、どうしても地区によってはそういう意見があることと思います。それで、要するに大部分の方が反対されるという意味でおおむね8割という線引きをさせていただいております。

以上です。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） その基準についてはいろいろ私も理解できない面もありますが、これぐらいにします。

それでは、市長に下水道の問題でお聞きをします。

下水道事業の今後であります。私はアンケートの結果という民意をしっかりと尊重して方向性を出してほしいと思います。私は以前もこの下水道の事業について質問をしましたが、そのときに強調したのは、この下水道事業というのは大変重要な事業であります。反面相当な財源が必要であり、市民も下水道負担金ということなど含めて負担が重くのしかかります。よって、地区によっては下水道を引くよりも合併浄化槽の補助を充実させたほうが得策、これは市も市民も、こういうところもありますので、総合的に適切な判断をお願いをしたいと思います。答弁をお願いします。

○議長（柚木毅） 市長、どうぞ。

◎市長（栗山康彦） 今後の方向性っていうことであろうかと思いますが、下水道事業は衛生的な生活を送ることができるのはもちろんですが、環境整備も大きな目的の一つでもあり、今後も事業を推進していく予定でございます。

また、下水道のない地区においての環境整備は合併処理浄化槽という手法もあります。今まで直接川などに流していた家庭排水をさまざまな方法で浄化させて、今ある豊かな自然、きれいな水を自分たちの子供や孫たちの世代にしっかりと残していくことは、今生きる私たちの責務であろうかと思えます。確かに、そのためには住民の皆さんにも負担を強いることもあろうかと思えますが、そういった意味でも御理解をいただきますようによろしくお願いをいたします。

以上でございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） それでは次に、水道管の未普及地域について質問をします。

議会初日の公営企業会計の監査委員の意見の中に水道事業の業務実績が掲載されておりまして、24年度末の給水戸数が1万3,268戸、給水人口は3万4,790人でありました。そして、普及率は95.9%でありました。こういうことで、未普及率は4.1%になるんだと思えますが、そういう理解でよろしいでしょうか。お聞きします。

○議長（柚木毅） 上下水道部長、どうぞ。

◎上下水道部長（垣内長） 普及率でございますが、普及率が95.9%ですから、未普及の方が4.1%おられるということでございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 未普及率が4.1%であります。では市内にどれくらい未普及地があり、普及できてない理由は何なのか、お聞きをします。

○議長（柚木毅） 上下水道部長。

◎上下水道部長（垣内長） 未普及地といたしまして、大きいところでは阿部山、日原地区がありますが、その他でございます。先ほどの4.1%の未普及率と申し上げましたが、人口に掛けますと約1,400人程度の方が給水できてないといわれます。個々の詳細な理由につきましては、現在把握しておりませんが、推測いたしますに昭和40年代、水道の創設時期でございます。各町が水道事業を開始したときに、井戸水等を生活用水に利用していて、当時接続を希望しなかつたまま、そのまま現在も給水の行われていない場合が最も多いのではなかろうかというふうに思っております。

その他の理由といたしまして、例えば宅地が高所にあることによるポンプアップが必要であったり、例えば本管から遠距離に存在するために工事が困難であったことなどもあろうかというふうに考えております。

以上です。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） ここに浅口市が発行した浅口市水道ビジョンというのがあります。発行年月日がかかれてないんでいつ発行されたかわかりませんが、恐らく合併後すぐに発行されたんだと思えます。この冊子の27ページに今後の水道の方針が書かれておりまして、この中で未普及地域の解消に努力し



ますというふうにあります。合併してもうすぐ8年ではありますが、この間どれぐらい未普及地域が減少したのかお聞きをします。

○議長（柚木毅） 上下水道部長、どうぞ。

◎上下水道部長（垣内長） 濟いません。

未普及地といいますか、普及率という話でちょっと申しわけないんですが、平成18年で普及率は94.6%で、先ほど議員さんおっしゃいました、現在の普及率は95.9%なので0.7ポイントですか、向上してるということでございます。

○議長（柚木毅） どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 多少未普及地が減ってるということではありますが、私はこれが減らない理由は、浅口市水道事業配水施設の基準及び管理に関する規定の中に1種管から3種管の区別があって、1種管は管理者の負担で施工する、浅口市ですね。それから、2種管は給水の申請者が工事の全部または一部を負担する。それから、3種管は住宅団地や営業を目的とする場合で給水申請者の負担によって施工するとなっています。

この3種類の区別がありまして、2種管の基準の中の一つとして、3戸以上同時に申し込みがあって、その付近に住宅があり将来給水申し込みが予想される、こういうものが2種管であります。3戸以上の申し込みが同時にあった場合、その引く費用は市の負担なのか個人負担なのか、どちらなんでしょうか。

○議長（柚木毅） 上下水道部長。

◎上下水道部長（垣内長） 3戸以上の場合でありますと、2種管につきましては申請者の方に一部負担していただきまして、工事は市がいたします。

以上です。

○議長（柚木毅） どうぞ。

◆7番（桑野和夫） それでは、2戸以下の場合はどうですか。

○議長（柚木毅） 上下水道部長。

◎上下水道部長（垣内長） 2戸以下の場合には全額申請者の方の負担となります。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 要するに、2戸以内の場合は個人がみずからお金を出して引くということになります。

そこでお聞きしますが、金光町にも幾つか未普及地がありますが、金光町の佐方や須恵の一部にも未普及地があります。ここは給水区域に入っているかどうかお聞きします。

○議長（柚木毅） 上下水道部長。

◎上下水道部長（垣内長） 個々の情報になりますのでお答えは難しいと思いますが、ほぼ全域の区域が給水地域に入っておりますので、多分その地域も入ってるだろうとは思いますが。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 私も給水区域に入ってると思っております。

そこで、水道法という法律があります。この水道法の第2条に責務というのがありまして、国及び

地方公共団体は、水道が国民の日常生活に直結し、その健康を守るために欠くことのできないものであり、かつ水が貴重な資源であることに鑑み、水源及び水道施設並びにこれらの周辺的生活保持並びに水の適正かつ合理的な使用に関し必要な施策を講じるとあります。そして、第15条の給水義務とありまして、その中では、水道事業者は、事業計画に定める給水区域内の需要者から給水契約の申し込みを受けたときは、正当な理由がなければこれを拒んではならないというふうにあります。先ほど言われましたように、金光町の一部の未普及地域は給水区域であります。この法との関係ではどうお考えかお聞きをします。

○議長（柚木毅） 上下水道部長。

◎上下水道部長（垣内長） 水道事業の公共性から、可能な限り未普及地を解消することは大前提でございますが、水道事業は公営企業でございまして、公の公共性を持つ部分と、それから企業としての利潤追求という部分がございます。そのあたりで、現行の制度、3戸以上につきましては一部個人負担をしていただければいいということで、2戸以下につきましては現行の制度となっております。御理解いただければと思います。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） 水道の未普及地域をなくそうと思ったら、私が先ほど言いました1種管から3種管の区別の中の2種管の基準を変えない限りは、なかなかこれ以上は減ってこないだと思います。要するに、同じ市民で同じように税を払いながらも、住宅の立地環境によって水道が来るか来ないかが区別をされるということでもありますから、これは私は不公平だと思います。この基準について改善されるつもりはないかお聞きをします。

○議長（柚木毅） 上下水道部長、どうぞ。

◎上下水道部長（垣内長） この質問でございますが、合併以前の旧寄島町におきましては2戸以上、こういう負担金の制度がございました。合併前、金光町とそれから鴨方町には類似した制度はありましたが、合併調整によりまして現行の制度になったものでございます。現在のところ、制度を見直す予定はございません。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） この問題で幾つかの自治体の例規を見てまいりましたが、例えば笠岡市などでは2戸以下の場合は市が管を引いて、一部を個人が負担する。その管は家の手前まで引いて、あとは個人が家まで持ってくるというふうな制度になっております。それから、他の自治体でも家が少ない場合は口径を小さくして市の負担で引くというふうなことをやっている自治体も少なくありません。こういう対応ができないかどうかお聞きします。

○議長（柚木毅） 上下水道部長。

◎上下水道部長（垣内長） 近隣という話が出ましたが、笠岡市の例を今おっしゃいました。笠岡市の場合は3種管という表現をしてると思いますが、それも2戸以下ではなく2戸の場合に限定だと思えます。ですので、2戸以下の場合でその管も手前の1軒目の分岐までのを市がして、その負担を一部は申請者の方がされるということになっておりまして、若干浅口市の分よりはハードルが高いのではなかろうかというふうに思います。また、倉敷市、里庄町につきましては同様の制度はないと聞いておりま

す。

以上でございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） ちょっといろいろ検討を私もしますし、執行部のほうも検討してほしいと思います。

この問題で市長にお聞きしますが、この水というものはライフラインの最たるものでありますが、公営企業とはいっても地方自治体が責任を持って布設する責任があると私は考えております。今の基準を変えるか、あるいは新たな基準をつくって補助をするなど、市として対応するお気持ちはありませんか。お聞きをします。

○議長（柚木毅） 市長、どうぞ。

◎市長（栗山康彦） 生活環境の向上のために水道の未普及地域の解消に取り組むということは、これはどうしてもやらなきゃいけないというふうに思っております。いろいろな町村でいろいろな、またやり方も違うと思いますが、先ほど部長が申しあげましたように、倉敷市、里庄町には今浅口にあるような制度はないということで、議員が言われましたように、笠岡にはこの浅口市と似たような制度があるということでございます。

未普及地域と未接続地域というのは少し違うように私は思います。といいますのも、今までも議員が言われるように、その一定のルールで皆さん水道を引かれておられます。個人で多くの方が負担を今の規則の中で引いてらっしゃるわけでありますから、これからも今のその規則の中で今の制度をしっかりと利用していただきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） それでは、最後に住宅リフォーム助成制度についてお聞きをします。

この制度の実施については、私はこれまで何度か質問をしてみましたが、まだ実現にはなっておりません。

笠岡市では、今年度4月から6月で177件を受け付け、291万円の交付を決定し、対象工事額は2億9,194万円に上っております。井原市では、平成24年度は339件の申請で、4,990万円の交付、経済効果は7億4,000万円と言われております。それから、同じく井原市で25年度8月末では198件の申請があり、3,000万円を交付して、経済効果は4億9,000万円ということになります。

このように、実施をしている自治体ではリフォームをする市民もさまざまな業者も喜び、加えて回り回って税となり、市の財政にも好影響を与える制度であります。なぜ浅口市で実施をされないのかお聞きをします。

○議長（柚木毅） 産業建設部長、どうぞ。

◎産業建設部長（松田勝久） 失礼をいたします。

住宅リフォームの助成制度についての御質問でございますけれども、市の財政は現在のところ市町村合併による特例措置としまして普通交付税が増額されておりますけれども、合併算定がえの終了後の平成



28年度以降においては財政運営が極めて憂慮されているところでございます。こうした中で、市の単独予算だけでこの制度を実施することは難しいのが現状でございます。また、昨年の6月の定例会におきましてもお答えをさせていただきましたが、市内の中小零細企業はこの厳しい財政状況の中で頑張っておられますけども、住宅リフォームの業種だけに助成をすることは困難であろうかと、こういうふうを考えております。

以上でございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） この助成制度は、業者を助成するのではなくて、市民を助成するものであります。

それから、同じ建設業関係だけというふうに言われましたが、今まで浅口市は耐震のための住宅改修に補助を出しておりますが、この補助も回り回っていけばリフォーム業者になりますが、この辺の関連はどうなんですか。

○議長（柚木毅） 産業建設部長。

◎産業建設部長（松田勝久） おっしゃるように、リフォームという事業に関して補助をリフォーム業者に出すわけじゃなくて、当然利用者の方に出すという認識はいたしております。

それと、耐震で補助を出すのとどこが違うんならと、こういう話だと思いますが、耐震の場合はそこにお住まいの方の人命を守るということだと思います。災害が起こったときに最小限の被害にとどめて生活の基盤を守る、人命を守るということで補助をさせていただいております。リフォームの場合はちょっとそれと外れるんじゃないかなと、こういうふうに思っております。

以上でございます。

○議長（柚木毅） 桑野議員、どうぞ。

◆7番（桑野和夫） また、お互いに検討をして、またいずれの時期にも話をしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

このあたりで副市長、何かこの住宅リフォーム助成制度について見解があればお願いします。

○議長（柚木毅） 副市長、どうぞ。

◎副市長（田村諭） 住宅リフォームについて、先ほど部長のほうで答弁いたしました。これは地域経済の活性化という観点から補助をとということだと思いますが、市のほうでは限られた予算の中で最大の効果を出せるようなさまざまな視点を持って総合的に検討してまいりたいというふうに考えておりますので、御理解いただきたいと思います。

（7番「ありがとうございました」の声あり）

○議長（柚木毅） 御苦労さまでした。

次に、18番井上邦男議員、どうぞ。

---

---

平成25年第3回 9月定例会 — 09月20日—05号

平成25年第3回 9月定例会

平成25年9月浅口市議会第3回定例会会議録（第5）

1. 招集年月日 平成25年9月20日（18日目）

1. 招集の場所 浅口市役所議場

1. 開 議 9月20日 午前9時30分

1. 議事日程

第1 委員長報告（質疑）

○総務文教常任委員会

○民生常任委員会

○産業建設常任委員会

○鴨方駅周辺整備調査特別委員会

○議会改革特別委員会

第2 議案討論・採決

議案第52号 浅口市営住宅条例の一部を改正する条例について

議案第53号 平成25年度浅口市一般会計補正予算（第2号）

議案第54号 平成25年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

議案第55号 平成25年度浅口市介護保険特別会計補正予算（第1号）

議案第56号 平成25年度浅口市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

議案第57号 平成25年度浅口市工業団地開発事業特別会計補正予算（第1号）

議案第58号 平成25年度浅口市水道事業会計補正予算（第1号）

議案第59号 市道路線の認定について

議案第60号 市道路線の廃止について

請願第9号 消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願

陳情第17号 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択の要請について

陳情第18号 国・県に対して「私学助成の拡充を求める意見書」の提出を要請する陳情書

第3 発議第4号 地方税財源の充実確保を求める意見書について（質疑・討論・採決）

第4 閉会中の委員会継続事件の申し出について

1. 本日の会議に付した事件及びその結果

日程第1 委員長報告（質疑）

○総務文教常任委員会

○民生常任委員会

○産業建設常任委員会

○鴨方駅周辺整備調査特別委員会

○議会改革特別委員会

日程第2 議案討論・採決

議案第52号 浅口市営住宅条例の一部を改正する条例について

(原案可決)

議案第53号 平成25年度浅口市一般会計補正予算(第2号)

( 〃 )

議案第54号 平成25年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

( 〃 )

議案第55号 平成25年度浅口市介護保険特別会計補正予算(第1号)

( 〃 )

議案第56号 平成25年度浅口市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

( 〃 )

議案第57号 平成25年度浅口市工業団地開発事業特別会計補正予算(第1号)

( 〃 )

議案第58号 平成25年度浅口市水道事業会計補正予算(第1号)

( 〃 )

議案第59号 市道路線の認定について

( 〃 )

議案第60号 市道路線の廃止について

( 〃 )

請願第9号 消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願

(採 択)

陳情第17号 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択の要請について

(採 択)

陳情第18号 国・県に対して「私学助成の拡充を求める意見書」の提出を要請する

陳情書

( 〃 )

日程第3 発議第4号 地方税財源の充実確保を求める意見書について(質疑・討論・採決)

(原案可決)

追加日程1 発議第5号 消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用を求める意見書について(質疑・討論・採決)

( 〃 )

追加日程2 発議第6号 少人数学級の推進など定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書について(質疑・討論・採決)

( 〃 )

追加日程3 発議第7号 私学助成の充実と私立高校の無償化を求める意見書について(質疑・討論・採決)

( 〃 )

追加日程4 発議第8号 私学助成施策の充実を求める意見書について

( 〃 )

日程第4 閉会中の委員会継続事件の申し出について

( 継続事件 )

1. 出席議員 (4番欠番)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1番 伊澤 誠   | 2番 佐藤 正人   |
| 3番 竹本 浩司  | 5番 岡邊 正継   |
| 6番 平田 襄二  | 7番 桑野 和夫   |
| 8番 加藤 淳二  | 9番 原 彰     |
| 10番 中西 美治 | 11番 柚木 毅   |
| 12番 藤澤 健  | 13番 青木 光朗  |
| 14番 大西 恒夫 | 15番 田口 桂一郎 |
| 16番 畑中 知時 | 17番 香取 良勝  |
| 18番 井上 邦男 | 19番 道廣 裕子  |
| 20番 高橋 範昌 | 21番 大西 洋平  |

1. 遅刻または中途退場した議員の番号、氏名 (なし)

1. 欠席議員 (なし)

1. 地方自治法第121条の規定に基づく説明のため出席した者の職氏名

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 市長 栗山 康彦      | 副市長 田村 諭      |
| 教育長 城山 藤一     | 企画財政部長 秋田 裕   |
| 生活環境部長 原田 健次  | 健康福祉部長 襟立 憲道  |
| 産業建設部長 松田 勝久  | 上下水道部長 垣内 長   |
| 金光総合支所長 河手 秀夫 | 寄島総合支所長 應本 秀文 |
| 教育次長 榎田 忠     | 会計管理者 筒井 正和   |
| 総務課課長補佐 武 弘一  |               |

1. 出席した事務局職員

- |              |          |
|--------------|----------|
| 議会事務局長 小西 通夫 | 書記 園部 智  |
| 書記 小橋 史明     | 書記 奥原 貴子 |

午前9時30分 開議

○議長(柚木毅) ただいまの出席議員は20人です。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

~~~~~

○議長(柚木毅) 質疑を終わります。

次に、民生常任委員会より報告をお願いします。

桑野委員長。

◆民生常任委員会委員長（桑野和夫） 民生常任委員会委員長報告をいたします。

平成25年9月13日午前9時30分から全員出席で開会しました。

本委員会に付託された議案の審査経過と結果については次のとおりであります。

1、平成25年度浅口市一般会計補正予算（第2号）（所管分）について。

歳出の主なものは、民生費、防犯機器設置事業補助金438万円、地域ケア会議活用推進等事業費173万4,000円、衛生費、し尿貯留槽新設工事費3,470万円。歳入の主なものは、地域ケア会議活用推進等事業補助金173万2,000円であります。

原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2、平成25年度浅口市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について。

歳入歳出はそれぞれ354万1,000円を追加するもので、歳出の主なものは特定健診・保健指導負担金返納金333万2,000円、歳入は繰越金354万1,000円であります。

原案のとおり可決すべきものと決定しました。

3、平成25年度浅口市介護保険特別会計補正予算（第1号）について。

歳入歳出それぞれ1,130万4,000円を追加するもので、歳出の主なものは償還金783万5,000円、歳入の主なものは介護給付費負担金904万1,000円であります。

原案のとおり可決すべきものと決定しました。

4、請願・陳情について。

請願第8号国に対して最低賃金引上げ、中小企業支援策の拡充を求める意見提出を求める請願書、陳情第15号安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情、陳情第16号介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情、これら3件については慎重に審査する必要があるため、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

5、議会報告会における意見等の協議について。

議会報告会でいただいた意見のうち、当委員会の所管分について協議をしました。

6、閉会中の継続事件について。

別紙のとおり8件を引き続き閉会中の委員会で調査することに決定しました。

以上、概要を報告します。

平成25年9月20日、民生常任委員会委員長桑野和夫。

○議長（柚木毅） 民生常任委員会委員長からの報告についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（柚木毅） 質疑を終わります。

次に、産業建設常任委員会より報告をお願いします。

平田委員長。